

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 コビキタス

上場取引所 東

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 勝大

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 森 正章

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	552	△14.5	△370	—	△368	—	△477	—
25年3月期第3四半期	646	△1.8	△34	—	△26	—	△77	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△53.85	—
25年3月期第3四半期	△9.08	—

(注)平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,869	—	1,769	—	93.3	—
25年3月期	2,280	—	2,166	—	94.0	—

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,744百万円 25年3月期 2,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720	△19.3	△500	—	△500	—	△602	—	△67.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,932,400 株	25年3月期	8,742,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,864,173 株	25年3月期3Q	8,524,838 株

(注)平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。上記株式数については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P3「1.(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式分割について

平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式数1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における売上高合計は552,853千円となり、2月12日発表の通期業績予想720,000千円に対して、76.8%の達成率となりました。

形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高275,125千円、サポート売上高35,798千円、ソフトウェア受託開発売上高150,476千円、製品売上高85,957千円、及びその他の売上高5,496千円となりました。

また、第1四半期会計期間より、「サービスプラットフォーム関連」分野を報告セグメントとする方法に変更し、報告セグメントを従来の単一セグメントから「組込みソフトウェア事業」及び「サービス事業」に変更しております。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりです。

セグメント	分野	当第3四半期累計期間		前第3四半期累計期間		増減率 (%)
		売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
組込みソフトウェア事業	ネットワーク関連	243,507	44.0	398,065	61.6	△38.8
	データベース関連	84,628	15.3	80,059	12.4	5.7
	高速起動関連	77,159	14.0	156,859	24.3	△50.8
	小計	405,295	73.3	634,983	98.2	△36.2
サービス事業	サービスプラットフォーム関連	147,558	26.7	11,343	1.8	1,200.8
	合計	552,853	100.0	646,327	100.0	△14.5

■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア事業の売上高は、前年同四半期比36.2%減となりました。その主な要因は、ネットワーク関連のうち携帯ゲーム向け売上高の大幅な減少によるものです。

①ネットワーク関連

「Ubiquitous Network Framework」「Ubiquitous Wi-Fi Direct」「Ubiquitous ECHONET Lite」「Ubiquitous DLNA, DTCP-IP」等の製品による新規顧客案件の獲得、受託開発収益、ロイヤルティ収益の獲得などを中心に収益を獲得しました。ゲーム分野においては、前四半期から、引き続き、携帯ゲーム機の世代交代に伴い前年同四半期に比べ大幅に売上が減少し、その影響を受けてネットワーク関連全体としては前年同期に比べて低調な結果となりました。

一方、開発が完了した車載分野向けの無線スマートフォン接続技術「Ubiquitous Miracast™ Solution」の拡販活動において、平成25年11月20日からパシフィコ横浜で開催された「ET2013展示会」でのルネサスエレクトロニクス株式会社ブース、株式会社村田製作所ブースにおいてデモ展示を行い、潜在顧客候補を獲得し積極的な営業活動を継続しています。

②データベース関連

既存顧客からのサポート及びロイヤルティを中心に売上を計上しました。OA機器、産業機器、モバイル機器及びカーナビゲーションシステムからロイヤルティ収益を獲得しております。引き続き、OA機器、産業機器などの新規顧客からの収益獲得を強化しており、新規にOA分野での包括開発契約を獲得しております。

③高速起動関連

新規案件の獲得が不調であったため、当初予想に比べ売上は伸び悩みました。しかしながら、カーナビゲーションシステムなど車載向けの端末を中心として、複数社との間で大・中規模案件の研究開発・商品化に向けた実装を継続しております。

新規に富士通テン株式会社から平成25年11月上旬から「ECLIPSE（イクリプス）」カーナビゲーションシステム「AVN」2013秋モデル、Zシリーズ3機種「AVN-ZX03i」「AVN-Z03iW」「AVN-Z03i」に「Ubiquitous QuickBoot™」が採用され発売を開始しました。また車載分野以外でも業務用のWi-Fiハンディカム端末への「Ubiquitous QuickBoot™」が採用され、開発完了に伴い売上計上、発売が開始されています。

また、今後数年でIT化、ネットワーク化が進み、クラウドとの連携が加速することが予想される車載情報機器（IVI, In-Vehicle Infotainment）分野での市場拡大を見込み、また、車載システムの高速起動への自動車メーカーや車載機器メーカーの要求の高まりに応えるため、引き続き、車載情報機器に採用が見込まれる最新SoC(System on Chip)への対応強化を継続しています。

■サービス事業

第2四半期累計期間に引き続き、大規模集合住宅向けの電力測定に係る受託案件のハードウェア製品の製造販売を追加受注し、当第3四半期累計期間において収益を計上しました。

2月12日、Internet of Things(IoT)を実現するdevice&data management platform (D2MP)「dalchymia (ダルキュミア)」の事業化を開始することを発表いたしました。

「dalchymia」は、多種多様なデバイスとの連携や外部データを集約するためのAPIやインターフェイスなどを提供するデバイス及びデータ管理基盤のための汎用性の高いプラットフォームです。

正式な事業化に先立ち、当第3四半期累計期間においても、車載関連の研究開発用途等で受託開発案件を受注、納品し、収益を計上しました。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として417,277千円（前年同四半期比1.3%減）及び、経費として726,177千円（同46.5%増）を計上しました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は149,167千円（同65.7%増）です。

また、第1四半期会計期間に特別損失として、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しその回復の可能性があると思われるものについて減損処理による投資有価証券評価損5,513千円を計上し、さらに第3四半期会計期間に当社が保有する固定資産について、現在の事業環境を踏まえ将来計画を見直した結果、減損損失として102,609千円を計上しています。

以上の結果、営業損失370,340千円（前年同四半期営業損失34,462千円）、経常損失368,377千円（同経常損失26,336千円）、四半期純損失477,359千円（同四半期純損失77,471千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より410,951千円減少して1,869,611千円となりました。流動資産は、現金及び預金及び売掛金の減少等により、前事業年度末より283,917千円減少して1,252,576千円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加等があったものの減損損失の計上により127,033千円減少して617,034千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より14,108千円減少して100,004千円となりました。流動負債は、買掛金の増加があったものの、未払金等の減少により前事業年度末より16,103千円減少して65,498千円となり、固定負債は34,506千円となりました。

資本金及び資本準備金は、新株予約権の行使により前事業年度末からそれぞれ36,689千円増加して資本金607,593千円、資本準備金577,593千円となり、利益剰余金は、四半期純損失477,359千円の計上により554,642千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より396,842千円減少して1,769,606千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の94.0%から93.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において平成26年2月12日発表の通期業績予想を見直すべき重要な要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,868	498,229
売掛金	242,234	211,453
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	6,871	9,350
仕掛品	585	3,611
前払費用	18,584	19,438
その他	349	10,494
流動資産合計	1,536,493	1,252,576
固定資産		
有形固定資産		
建物	72,357	16,581
減価償却累計額	△9,798	△16,581
建物(純額)	62,558	—
工具、器具及び備品	39,202	30,365
減価償却累計額	△26,005	△30,365
工具、器具及び備品(純額)	13,196	—
有形固定資産合計	75,755	—
無形固定資産		
ソフトウェア	249,391	174,825
ソフトウェア仮勘定	44,509	18,016
商標権	1,680	—
無形固定資産合計	295,581	192,842
投資その他の資産		
投資有価証券	25,700	77,160
長期預金	300,000	300,000
差入保証金	47,031	47,031
投資その他の資産合計	372,731	424,192
固定資産合計	744,068	617,034
資産合計	2,280,562	1,869,611

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,893	21,241
未払金	33,454	27,097
未払費用	10,037	5,306
未払法人税等	7,644	1,271
未払消費税等	6,464	—
前受金	7,974	8,322
預り金	5,132	2,258
流動負債合計	81,601	65,498
固定負債		
繰延税金負債	7,726	9,591
資産除去債務	24,786	24,915
固定負債合計	32,512	34,506
負債合計	114,113	100,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,903	607,593
資本剰余金	540,903	577,593
利益剰余金	1,032,001	554,642
株主資本合計	2,143,809	1,739,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	4,918
評価・換算差額等合計	—	4,918
新株予約権	22,639	24,858
純資産合計	2,166,448	1,769,606
負債純資産合計	2,280,562	1,869,611

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	488,867	275,125
サポート売上高	41,227	35,798
ソフトウェア受託開発売上高	104,888	150,476
製品売上高	11,343	85,957
その他の売上高	—	5,496
売上高合計	646,327	552,853
売上原価	218,808	402,620
売上総利益	427,519	150,232
販売費及び一般管理費		
役員報酬	54,150	49,343
給料及び手当	149,645	149,962
法定福利費	17,146	18,479
広告宣伝費	18,677	11,290
減価償却費	5,688	4,211
不動産賃借料	20,543	17,287
支払手数料	59,424	71,185
消耗品費	2,627	1,083
研究開発費	90,035	149,167
その他	44,042	48,562
販売費及び一般管理費合計	461,982	520,573
営業損失(△)	△34,462	△370,340
営業外収益		
受取利息	468	483
有価証券利息	874	797
受取配当金	—	366
還付加算金	4,297	—
為替差益	—	415
雑収入	2,548	0
営業外収益合計	8,187	2,062
営業外費用		
為替差損	61	—
支払手数料	—	98
営業外費用合計	61	98
経常損失(△)	△26,336	△368,377
特別損失		
減損損失	—	102,609
投資有価証券評価損	—	5,513
特別損失合計	—	108,122
税引前四半期純損失(△)	△26,336	△476,500
法人税、住民税及び事業税	2,430	1,717
法人税等調整額	48,703	△858
法人税等合計	51,134	859
四半期純損失(△)	△77,471	△477,359

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

当社は、組込みソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	サービス事業	
売上高			
外部顧客への売上高	405,295	147,558	552,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	405,295	147,558	552,853
セグメント損失(△)	△196,217	△174,123	△370,340

(注)セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前事業年度末においては、組込みソフトウェア事業の単一セグメントでしたが、第1四半期会計期間より新たな事業セグメントが識別されたことから、従来の単一セグメントから「組込みソフトウェア事業」、「サービス事業」に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第3四半期累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社は、当第3四半期累計期間において固定資産の減損損失を102,609千円計上しております。セグメントごとの減損損失の計上額は、「組込みソフトウェア事業」が57,670千円、「サービス事業」が44,938千円です。